

シラバス

平成29年度
(1年用)



滋賀県立米原高等学校

目 次

教 科	科 目	ページ
国 語	国語総合	1
地歴公民	世界史B	4
	現代社会	5
数 学	数学Ⅰ	6
	数学Ⅱ	7
	数学A	8
理 科	物理基礎	9
	生物基礎	10
保健体育	体 育	11
	保 健	13
芸 術	音楽Ⅰ	14
	美術Ⅰ	15
	書道Ⅰ	16
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	17
	英語表現Ⅰ	18
	実践コミュニケーションⅠ	19
家 庭	家庭基礎	20
情 報	社会と情報	21
理 数	理数数学Ⅰ	22
	理数生物	25
	理数地学	26

国語科・国語総合(現代文)・第一学年・普通科・理数科 2単位

目 標		国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。	
使用教科書		三省堂 国語総合 現代文編	
副 教 材		「大学入試漢字 TOP2000 改訂版」(いっずな書店) 「新版三訂 カラー版 新国語便覧」(第一学習社)	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～	「ありのままの世界は見えない」 田中真知	「世界」の「見え方」の違いについて、筆者の主張を事例に着目しながら正確に理解している。(読・関・話)
5月	5/1～ 5/8～ 中間考査	「水の東西」 山崎正和	文化の違いについて、対比表現に着目しながら、筆者の主張を的確に読み取り、考えを深めようとしている。(読・関・話)
6月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～ 期末考査	「羅生門」 芥川龍之介 「ものことば」 鈴木孝夫	極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。(読・関・知) 「ことば」が本質的に持つ、「虚構性」について問題意識を持ち、引用された事例から、抽象的な概念を具体的なイメージにして理解している(読・関)
7月	7/10～ 7/18～	「子ブタと未来」 中村安希	筆者の体験に基づいて、国際貢献で求められることについて、理解を示し、自己の主張を展開することができる。(関・読・書)
8月	8/25～ 8/28～	言語活動2「調査して発表する」	相手や目的に応じた方法を工夫して発表する。(関・話・書)
9月	9/4～ 9/11～ 9/19～ 9/25～ 中間考査	「灰色の月」 志賀直哉 「余暇について」 内山節	背景となっている時代状況を把握しつつ、会話表現や語りの視点に注意して場面の推移や人物の心理の変化を理解する。(読・知・関) 余暇を巡る相反する考えから、論理展開に沿って筆者の主張を読み取る。(読・知・話)
10月	10/10～ 10/16～ 10/23～	詩歌「いしのうへ」「死なない蝸」 「サフラン」「崖」	それぞれの形式やリズム、表現方法に注意して読む。(読・関)
11月	10/30～ 11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～ 期末考査	「富嶽百景」 太宰治 「マルジャーナの知恵」 岩井克人	主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わう。(読・関・書) 引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者が述べる資本主義の本質について考えを深める。(読・関・話)
12月	12/7～ 12/11～ 12/18～	「グローバリゼーションの光と影」 小熊英二	視野を広げ思考を進めながら文章を読もうとしている。(読・知)
1月	1/9～ 1/15～ 1/22～	「その子二十—短歌二十一首」「いくたびも—俳句二十一句」	詩歌に親しみ、そこに描かれた世界を読み味わう。(読・関)
2月	1/29～ 2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～ 学年末考査	「情報の『メタ』化」 外山滋比古 言語活動4「随筆を書く」 「見る—考える」 大森荘蔵	読むことに必要な文章の組み立てについて知り、一次、二次、三次の情報の段階的抽象化について理解する。 情景や心情を的確に説明したり描写したりする。(書・話)
3月	3/12～ 3/19～	言語活動5「意見文を書く」	筆者が述べる「知覚すること」と「考えること」の相違について論理展開に着目し、主張の本質を理解する。(読・知) 問題についてさまざまな角度から検討し、根拠を明確にして自分の意見を述べる。書いた文章について気づいた点を話し合い、自分の考えを豊かにする。(知・書・話)
言語活動の充実のための学習活動		作品の読み取りなどを通して、自らの意見をまとめ、発表するとともに、生徒間で意見を交流させる。 種々のテーマについてスピーチや班別討論、ディベートを行う。	
評価方法		①定期考査 ②課題テスト ③授業への取り組み ④提出物 ⑤小テスト	

国語科・国語総合(古典)・第一学年・普通科 3単位

目標	古典作品の読解を通じて多様な考え方、見方、感じ方を学び、心情を豊かにし、伝統的な言語文化に対する関心を高めるとともに、国語を適切に表現するための言語感覚を育てる。	
使用教科書	三省堂「高等学校 国語総合 古典編 [改訂版]」	
副教材	「新版三訂 カラー版 新国語便覧」(第一学習社)「基礎から解釈へ 新しい古典文法 四訂新版」(桐原書店) 「体系漢文」(数研出版)「体系漢文準拠ワーク」(数研出版)	
時期	学習内容	評価規準
4月 4/10～ 4/17～ 4/24～ 5/1～	「古典を読むということ」竹西寛子 「児のそら寝」「絵仏師良秀」	古典を学んでいくことの意義を考え、古典への興味・関心を広げようとしている。(関・読・話) 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとしている。歴史的仮名遣いと用言について理解している。(読・知・関)
5月 5/8～ 中間考査	漢文入門	漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとしている。 漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解している。(関・書)
6月 5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～ 期末考査	「竹取物語」かぐや姫の生立ち かぐや姫の成長 故事成語 借虎威 蛇足 漁父之利	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。(知・読・書) 日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぼうとしている。 訓点に従って漢文を正確に読み、書き下している。(関・書)
7月 7/10～ 7/18～	「伊勢物語」芥川 東下り 筒井筒 梓弓	和歌の解釈を踏まえ、登場人物の状況や心情を理解する。 情景や心情を想像し、それについての自分の感想を文章にまとめている。(関・書・読)
8月 8/25～ 8/28～	漢詩	近体詩のきまりの基本を理解している。
9月 9/4～ 9/11～ 9/19～ 9/25～ 中間考査	春暁 登鶴鷄楼 静夜思 江雪 送元二使安西 江南春 涼州詞 春望 臨洞庭 登高 史話 先從隗始 臥薪嘗胆	訓点に従って、漢詩を正確に読み、書き下している。 句法・語法を理解した上で、それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認している。(書・知・読)
10月 10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～	「徒然草」丹波に出雲といふ所あり 亀山殿の御池 にある人、弓射ることを習ふに 故事成語 朝三暮四 管鮑之交	随筆に表れた作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。(読・関・知) 登場人物の言動から、寓話に込められた意図について考える。 句法や助字・重要語句について理解して現代語訳している。(関・知・書)
11月 11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～ 期末考査	「土佐日記」 門出 忘れ貝 帰京 論語・孟子	表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解しようとしている。作品の文学的意義を理解している(知・読・話) 孔子・孟子の主張の重要性について理解し、ものの見方、考え方を豊かにする。(読・関・知)
12月 12/7～ 12/11～ 12/18～	「平家物語」祇園精舎 木曾の最後 史話	軍記物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。(読・関・知) 史話に描かれた情景や人物の心情などを、表現に即して読み味わう。(読・関・知)
1月 1/9～ 1/15～ 1/22～ 1/29～	晏子之御 鶏鳴狗盗 和歌 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 「奥の細道」旅立ち 立石寺	歌の持つ意味やそこに込められた心情を理解する。それぞれの歌集の歌の特徴、成立した時代、時代背景を理解する。(関・知・読) 筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わっている。(読・話・書)
2月 2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～ 学年末考査	雑説 「桃花源記」	描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの詩や文を読み味わう。(読・関・知) 句法・語法を理解した上で、背後にある思想について基本的な知識を得ている。(知・話・読)
3月 3/12～ 3/19～	「無名抄」	登場人物の言動を整理することによって、そこに見られる心理や和歌への姿勢を理解しようとしている。(関・知・読)
言語活動の充実のための学習活動	古典教材の読み取りなどを通して、自らの意見をまとめ、発表するとともに、生徒間で意見を交流させる。 種々のテーマについてスピーチや班別討論、ディベートを行う。	
評価方法	①定期考査 ②課題テスト ③授業への取り組み ④提出物 ⑤小テスト	

国語科・国語総合(古典)・第一学年・理数科 2単位

目 標		古典作品の読解を通じて多様な考え方、見方、感じ方を学び、心情を豊かにし、伝統的な言語文化に対する関心を高めるとともに、国語を適切に表現するための言語感覚を育てる。	
使用教科書		三省堂「高等学校 国語総合 古典編 [改訂版]」	
副 教 材		「新版三訂 カラー版 新国語便覧」(第一学習社)「基礎から解釈へ 新しい古典文法 四訂新版」(桐原書店) 「体系漢文」(数研出版)「体系漢文準拠ワーク」(数研出版)	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～ 4/17～	「古典を読むということ」竹西寛子 「兎のそら寝」「絵仏師良秀」	古典を学んでいくことの意義を考え、古典への興味・関心を広げようとしている。(関・読・話) 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとしている。歴史的仮名遣いと用言について理解している。(読・知・関)
	4/24～ 5/1～		
5月	5/8～	漢文入門	漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとしている。漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解している。(関・書)
	中間考査		
6月	5/22～ 5/29～	「竹取物語」かぐや姫の生立ち かぐや姫の成長 故事成語 借虎威 蛇足 漁父之利	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。(知・読・書) 日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぼうとしている。訓点に従って漢文を正確に読み、書き下している。(関・書)
	6/5～		
	6/12～ 6/19～		
	6/26～		
	期末考査		
7月	7/10～ 7/18～	「伊勢物語」芥川 東下り	和歌の解釈を踏まえ、登場人物の状況や心情を理解する。情景や心情を想像し、それについての自分の感想を文章にまとめている。(関・書・読)
	8/25～		
8月	8/28～	漢詩	近体詩のきまりの基本を理解している。訓点に従って、漢詩を正確に読み、書き下している。(知・話・書)
	9/4～ 9/11～		
9月	9/19～ 9/25～	春暁 登鸛鷓樓 静夜思 江雪 送元二使安西 江南春	史話 先從隗始 臥薪嘗胆
	中間考査		
10月	10/10～ 10/16～	「徒然草」丹波に出雲といふ所あり ある人、弓射ることを習ふに 故事成語 朝三暮四 管鮑之交	訓点に従って漢文を正確に読み、書き下している。句法・語法を理解した上で、それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認している。(書・知・読) 随筆に表れた作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。(読・関・知)
	10/23～ 10/30～		
	11/6～ 11/13～		
	11/20～ 11/27～		
11月	11/27～	「土佐日記」 門出 帰京 論語・孟子	登場人物の言動から、寓話に込められた意図について考える。句法や助字・重要語句について理解して現代語訳している。(関・知・書) 表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解しようとしている。作品の文学的意義を理解している(知・読・話) 孔子・孟子の主張の重要性について理解し、ものの見方、考え方を豊かにする。(読・関・知)
	期末考査		
12月	12/7～ 12/11～	「平家物語」祇園精舎 木曾の最後 史話	軍記物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。(読・関・知) 史話に描かれた情景や人物の心情などを、表現に即して読み味わう。(読・関・知)
	12/18～		
	1/9～		
1月	1/15～ 1/22～	晏子之御 鷄鳴狗盗 和歌 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	歌の持つ意味やそこに込められた心情を理解する。それぞれの歌集の歌の特徴、成立した時代、時代背景を理解する。(関・知・読) 筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わっている。(読・話・書)
	1/29～		
2月	2/5～ 2/13～	「奥の細道」旅立ち 雑説 「桃花源記」	描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの詩や文を読み味わう。(読・関・知) 句法・語法を理解した上で、背後にある思想について基本的な知識を得ている。(知・話・読)
	2/19～ 2/26～		
	学年末考査		
	3/12～		
3月	3/19～	「無名抄」	登場人物の言動を整理することによって、そこに見られる心理や和歌への姿勢を理解しようとしている。(関・知・読)
言語活動の充実のための学習活動		古典教材の読み取りなどを通して、自らの意見をまとめ、発表するとともに、生徒間で意見を交流させる。種々のテーマについてスピーチや班別討論、ディベートを行う。	
評価方法		①定期考査 ②課題テスト ③授業への取り組み ④提出物 ⑤小テスト	

地歴・公民科 世界史B 1年 英語コース 3単位

目 標		古代から現代までの世界の諸地域の主要な歴史の流れを幅広く学習し、世界史の基礎的な知識を定着させる。その上で、グローバル化が進む国際社会を主体的に生きるための資質を養う。	
使用教科書		詳説世界史B(山川出版社)	
副 教 材		詳説世界史整理ノート(山川出版社)、詳説世界史10分間テスト(山川出版社)、グローバルワイド最新世界史図表(第一学習社)	
時 期		学 習 内 容	
4月	4/10 ~	先史の世界	関心・意欲 ・世界の諸地域の歴史事象に関心を持っているか。 ・歴史の流れを積極的に理解しようとしているか。 ・復習に努めているか。
	4/17 ~	古代オリエントと地中海世界	
5月	4/24 ~	〃	思考・判断 ・各時代・地域の資料や図表を様々な観点からとらえ当時の社会的背景を考察することができるか。 ・各時代と現代社会とを比較することができるか。
	5/ 1 ~	インドの古典文明	
5月	5/ 8 ~	中国の古典文明	技能・表現 ・歴史上の人物や出来事を説明する際、効果的な資料や図表を用いることができるか。
	中間考査	〃	
6月	5/22 ~	東アジア世界の形成	知識・理解 ・古代から現代までの基礎的な知識が定着しているか。 ・整理ノートをしっかりまとめ、授業で学んだことを理解しているか。
	5/29 ~	〃	
6月	6/ 5 ~	イスラム世界の形成	〃
	6/12 ~	〃	
7月	6/19 ~	中世ヨーロッパ世界	〃
	6/26 ~	〃	
7月	期末考査	東アジア世界の発展	〃
	7/10 ~	〃	
8月	7/18 ~	〃	〃
	8/25 ~	〃	
9月	8/28 ~	印象に残った人物の研究と発表	〃
	9/ 5 ~	近世ヨーロッパ世界の形成	
9月	9/12 ~	〃	〃
	9/20 ~	〃	
10月	9/26 ~	近世ヨーロッパ世界の展開	〃
	中間考査	〃	
10月	10/11 ~	近世ヨーロッパと	アメリカ独立革命
	10/17 ~	アメリカ世界の成立	
11月	10/24 ~	〃	ナポレオン
	10/31 ~	〃	ウィーン体制
11月	11/ 7 ~	〃	ヨーロッパの再編
	11/14 ~	〃	アメリカの発展
11月	11/22 ~	アジア諸地域の動揺	オスマンと南アジア
	11/24 ~	〃	東南アジアの植民地化
11月	11/28 ~	〃	東アジアの激動
	期末考査	〃	〃
12月	12/ 7 ~	帝国主義	〃
	12/11 ~	〃	
1月	12/18 ~	二つの世界大戦	第一次世界大戦
	1/ 9 ~	〃	ヴェルサイユ体制
2月	1/15 ~	〃	世界恐慌
	1/22 ~	〃	第二次世界大戦
2月	1/29 ~	〃	〃
	2/ 5 ~	冷戦と第三世界	冷戦の激化
2月	2/13 ~	〃	〃
	2/19 ~	〃	第三世界の台頭
3月	2/26 ~	〃	〃
	学年末考査	〃	〃
言語活動の充実のための学習活動		歴史上の人物調べ学習を課す。その内容について発表の機会を設定する。 10分間テストを利用しながらクイズ形式での復習の機会を設定する。	
評価方法		定期考査、小テスト(10分間テスト)、課題の提出状況、出席状況、学習に取り組む姿勢など総合的に判断して評価する。	

地歴、公民科 現代社会 1年普通科(普通類型)・理数科 2単位

目 標		1. 現代社会における制度・歴史的背景・問題点等を理解し、現代社会に対する認識を高める。(知識・理解) 2. 現代社会にかかわる諸資料を適切に読み取ることができるようにする。(技能) 3. 現代社会が抱える諸課題に対して、その望ましい方向性や解決策を主体的に考えられるようにする。(思考・判断・表現) 4. 現代社会に対する自らの考えを、自分の言葉で適切に表現することができるようにする。(思考・判断・表現) 5. 現代社会に対する関心を高め、そこにある課題を自ら発見しようとする態度を養う。(関心・意欲・態度)
使用教科書		改訂版 高等学校 現代社会(数研出版)
副 教 材		新版テーマ別資料 クローズアップ現代社会 2017(第一学習社編集部)
時 期		学 習 内 容
4月		4/10～生命をめぐる問題 4/17～ 4/24～情報化社会の進展 5/1～環境をめぐる問題
5月		5/8～資源・エネルギー問題 中間考査
6月		5/22～青年期の特徴・課題 5/29～現代社会における青年期の生き方 6/5～古代の人々に学ぶ生き方・考え方 6/12～近代の人々に学ぶ生き方・考え方 6/19～日本の伝統思想 6/26～国際社会に生きる日本人
7月		期末考査
8月		7/10～人間と法のかかわり 7/18～民主政治の歴史と原理 8/25～現代の民主政治の制度 8/28～世界の主な政治体制
9月		9/4～明治憲法と日本国憲法 9/11～基本的人権と平等権・自由権 9/19～基本的人権と社会権 9/25～新しい人権と人権の国際的な広がり
10月		中間考査
11月		10/10～日本国憲法における安全保障 10/16～日本の三権分立 10/23～現代の地方自治 10/30～日本の選挙制度と政治参加 11/6～日本における行政機能の拡大 11/13～国際社会の諸制度 11/20～国際社会の諸課題 11/27～経済社会の変容と現代の企業
12月		12/7～市場経済の原理 12/11～財政・金融政策 12/18～現代日本経済の歴史
1月		1/9～日本の中小企業と農業 1/15～経済発展とその課題 1/22～現代の社会保障制度
2月		1/29～国際経済の展開 2/5～国際貿易のしくみ 2/13～世界の経済格差 2/19～国際経済における地域統合 2/26～
3月		学年末考査 3/12～主権者教育 3/19～
言語活動の充実のための学習活動		・自分の考えを文章でまとめる機会を多く設け、生徒の思考力・判断力・表現力を育成する。 ・発表や議論の機会を多く設け、生徒の思考力・判断力・表現力を育成する。
評価方法		定期考査、小テスト、学習態度、出席状況、課題の提出状況などを総合して評価する。

数学・数学Ⅰ 1年 普通科 3単位

目 標		数と式, 2次関数, 図形と計量, 及びデータの分析について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。	
使用教科書		数学Ⅰ【啓林館】(61啓林館/数Ⅰ325)	
副 教 材		エスコート 数学Ⅰ+A【啓林館】	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10~ 4/17~	第1章 数と式 第1節 整式	◎整式の基本的な性質を理解し, 加法・減法の計算ができる。[技能] ◎数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに, 数を拡張していく過程に関心を持ち, 調べようとする。[関・意・態]
	4/24~		
5月	5/1~ 5/8~	第2節 実数 第3節 方程式と不等式 [課題学習]	◎数を拡張してきた過程を考察することができる。[見・考] ◎実数が直線上の点と1対1に対応していることを理解している。[知・理] ◎不等式の性質を理解している。[知・理] ◎連立不等式の解の意味を理解している。[知・理]
	中間考査		
6月	5/22~ 5/29~	第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ	◎2次関数のグラフの平行移動を理解し, その移動について考察できる。[見・考] ◎2次関数を変形することにより, 位置を調べることができる。[技能]
	6/5~ 6/12~		
7月	6/19~ 6/26~	第2節 2次関数の最大・最小	◎グラフが満たす条件から2次関数の式を求める方法を理解している。[知・理] ◎2次関数のグラフを用いて最大値・最小値を求めることができる。[技能]
	期末考査		
8月	7/10~ 7/18~	第3節 2次関数と方程式・不等式 [課題学習]	◎2次関数の値の変化の様子についてグラフを用いて考察しようとする。[関・意・態]
	8/25~		
9月	8/28~ 9/4~	第3章 図形と計量 第1節 鋭角の三角比 第2節 三角比の拡張	◎三角比に関心を持ち, 直角三角形の計量に用いようとする。[関・意・態] ◎三平方の定理を用いて三角比の相互関係を導く過程を考察することができる。[見・考]
	9/11~ 9/19~		
10月	9/25~ 10/10~	第3節 正弦定理と余弦定理 第4節 図形の計量 [課題学習]	◎鈍角まで拡張した三角比の意義を理解している。[知・理] ◎三角比や正弦定理・余弦定理などを用いて平面図形や空間図形を計量することができる。[技能]
	10/16~ 10/23~		
11月	10/30~ 11/6~		
	11/13~ 11/20~		
12月	11/27~ 12/7~	第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析	◎様々なデータから散らばり具合を整理して全体の傾向をつかもうとする。[関・意・態] ◎箱ひげ図を用いてデータの散らばり具合を表すことができる。[技能]
	12/11~ 12/18~		
1月	1/9~ 1/15~	第2節 データの相関 [課題学習]	◎用語の意味を理解し, 求めることができる。[知・理] ◎散布図と相関係数から2つの変量の相関関係を考察することができる。[見・考]
	1/22~ 1/29~		
2月	2/5~ 2/13~		
	2/19~ 2/26~		
3月	2/26~ 3/12~	学年末考査	
	3/19~		
言語活動の充実のための学習活動		◎日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく, 筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 ◎答えを導く過程を, 説明できるようなプレゼンテーション能力を高める。 ◎単元ごとの小テストや, 定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	
評価方法		◎各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや, 定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

数学・数学Ⅱ 1年 普通科 1単位

目 標		数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
使用教科書		数学Ⅱ【啓林館】(61啓林館/数Ⅱ308)	
副 教 材		エスコート 数学Ⅱ+B【啓林館】	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～		
5月	5/1～ 5/8～ 中間考査		
6月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～		
7月	期末考査		
8月	7/10～ 7/18～ 8/25～ 8/28～		
9月	9/4～ 9/11～ 9/19～ 9/25～		
10月	中間考査		
11月	10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～ 11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～		
12月	期末考査		
1月	12/7～ 12/11～ 12/18～ 1/9～	第1章 いろいろな式 第1節 整式の乗法・除法と分数式 第2節 式と証明 第3節 高次方程式	◎整式や分数式を目的をもって変形し、処理することができる。[技能] ◎等式や不等式の証明を通して、式を論理的にみることができる。[見・考] ◎数を複素数まで拡張することにより、2次方程式が常に解をもつようになることに興味・関心をもつ。[関・意・態]
2月	1/15～ 1/22～ 1/29～ 2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～		
3月	学年末考査		
	3/12～ 3/19～		
言語活動の充実のための学習活動	◎日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 ◎答えを導く過程を、説明できるようなプレゼンテーション能力を高める。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。		
評価方法	◎各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。		

数学・数学A 1年 普通科 2単位

目 標		場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書		数学A【啓林館】(61啓林館/数A325)
副教材		エスコート 数学I+A【啓林館】
時 期		学 習 内 容
4月	4/10~ 4/17~	数学A 補足資料 集合 (数学I 第4章 集合と命題 の集合部分)
5月	4/24~ 5/1~	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数
	5/8~ 中間考査	第2節 順列・組合せ
6月	5/22~ 5/29~	第3節 確率とその基本性質 第4節 いろいろな確率
	6/5~ 6/12~	
	6/19~ 6/26~	
7月	期末考査	
8月	7/10~ 7/18~	(数学I 第4章 集合と命題 の命題 部分) [課題学習]
	8/25~ 8/28~	第2章 整数の性質
9月	9/4~ 9/11~	第1節 約数と倍数 第2節 互除法と不定方程式
	9/19~ 9/25~	
10月	中間考査	
11月	10/10~ 10/16~	第3節 整数の性質の活用 [課題学習]
	10/23~ 10/30~	
	11/6~ 11/13~	
	11/20~ 11/27~	
	12月	期末考査
1月	12/7~ 12/11~	第3章 図形の性質
	12/18~ 1/9~	第1節 三角形の性質 第2節 円の性質
2月	1/15~ 1/22~	第3節 作図 第4節 空間図形 [課題学習]
	1/29~ 2/5~	
	2/13~ 2/19~	
3月	2/26~ 学年末考査	
	3/12~ 3/19~	問題演習
言語活動の充実のための学習活動		◎日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作成することを目標にする。 ◎答えを導く過程を、説明できるようなプレゼンテーション能力を高める。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。
評価方法		◎各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。